

支援だより 第2号



県立金沢支援学校 連携支援グループ 地域支援チーム 令和5年5月

今回の支援だよりは、金沢総合高校で行った出張授業について、本校の情報教育・ICTの活用について、専門職の紹介、地域支援情報コーナーについての4本立てになっています。

金沢総合高校で出張授業を行いました

昨年度、感染症予防のため中止になった金沢総合高校との授業交流が再開しました。今年度は金沢総合高校の7名の生徒の皆さんと全9回の授業交流を予定しています。授業交流に向けて、5月9日に本校の教育相談コーディネーターが『障がい理解のために』というテーマで出張授業を行いました。

授業の内容の紹介

神奈川県立金沢支援学校




本校開校して16年目
今年度、32名の
児童生徒が通っています。

所在地：横浜市金沢区富岡東
部門：肢体不自由教育、知的障害教育
学部：小学部、中学部、高等部、横浜水取沢分教室

教室・時間割




インクルーシブな社会って？



誰もが包み込まれるような、
優しく安心な生活

お互いに尊重し、一人ひとりが
個性を發揮できる生活



○金沢支援学校の紹介

学校の中の様子や行っている授業などを写真で紹介しました。支援の工夫に頷いたり驚いたりする生徒の皆さんの表情が印象的でした。

○障がいについて知ろう

人それぞれ、見え方や聞こえ方などの感覚に違いがあるというお話をしました。インクルーシブな社会の考え方にも触れながら、自分とは違う人がいることを知ろうとすること、自分と違うところを認めて、気持ちに寄りそうことが障がい理解の第一歩だということを伝えました。



授業を受けた 感想の紹介

障がいはわたしたちの目に見えているものだけではないということを知りました。自分の感覚と違う人を知って、どうしてそう思ったのかな？と考えられるようになりたいです。

障がいのあるなしに関わらず、相手のことを知ろうとしたり、分かってほしいとすることが大切だと思いました。







本校の情報教育・ICT の活用の紹介

こんにちは。昨年度から金沢支援学校の情報教育・ICT 活用のコーディネートを担当している渡邊光海（みつみ）と言います。ICT を活用した授業について、校内で使用できるアプリや ICT 機器の説明、応用の仕方などを紹介していきます。今回は、ICT 機器を使ったコミュニケーションについてご紹介します。

コミュニケーションの方法は、音声での言葉のやりとりだけでなく、身振り手振り、目線、筆談、絵カードなど様々あります。筆談や絵カードを使ったやりとりを、スマホやタブレット端末のアプリ【AAC（補助代替コミュニケーション）アプリ】で行うことができます。音声出力が可能、書いたり消したりするなどの保存が簡単、絵カードを沢山持ち歩かなくてよい、絵カードやアイコンを簡単に作れるなど、デジタル機器だからこそそのメリットも沢山あります。また、身振り手振りや目線は、支援者との関係性の中で成立する場合がありますが、絵カードや音声出力には、関係性を問わず、第三者にも伝わりやすいという良さもあります。

学校では、下記のような AAC アプリを用意しています。それぞれ操作性やねらいが異なりますが、使い方を覚えれば、音声での言葉のやりとりに難しさがあっても、自分の意思を伝えられるスキルとなります。

自分が考えていること、思っていることが相手にスムーズに伝わるようになると、伝わらないもどかしさ、分かってもらえない苛立ちなどの余計なストレスが減るだけでなく、人とのかかわりをより楽しめるようになり、活動の幅が広がっていくと思います。担任にご相談いただければ、学校やクラスで活用できるように準備の協力をさせていただきます。ぜひ、各端末のアプリストアで検索して、詳細をご確認ください。

	<p>PECS IV+</p> <p>絵カードで文を作りコミュニケーションを学ぶ PECS フェイズIVまで学習した方が対象アプリです。絵カードのカスタマイズ、音声再生が可能です。</p>		<p>かなトーク mini2</p> <p>入力した文字列を、音節や文節を判別して音声出力します。独自の平仮名入力だけでなく、端末のソフトウェアキーボードも使えます。</p>
	<p>DropTap</p> <p>ドロップレット・プロジェクトが新しく開発したアプリです。シンボルを他のアプリに貼り付けも可能です。</p>		<p>DropTalk</p> <p>シンボルと音声を使い、さまざまなサイズのキャンバスを選べます。スケジュール作成もできます。</p>
	<p>しゃべって</p> <p>画面に手書きした文字を音声に変換出力します。キーボードでの入力や保存にも対応しています。</p>		<p>たすくコミュニケーション</p> <p>コミュニケーションカード（絵＋音声）を組み合わせることができます。</p>

※この他にも、『ねえ、きいて』や『筆談パット』などもあります。

かなざ輪☆支援るーむ

金沢支援学校ホームページ『かなざ輪☆支援るーむ』のコーナーでは、地域支援チームや教育相談コーディネーターからの情報発信や進路支援についての内容を随時更新しています。ぜひご覧ください。



専門職(PTとST)について

神奈川県では、相談支援のネットワークづくりの一貫として、平成20年度から県内の特別支援学校に理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、臨床心理士といった専門職が配置され、特別支援学校内の児童・生徒への支援と地域のセンター的機能への対応（巡回相談等）を実施しています。金沢支援学校には、以前より理学療法士（PT）が在籍していましたが、今年度新たに言語聴覚士（ST）が在籍することになりましたので、それぞれの活動内容について紹介します。

理学療法士（PT）
宮崎美保



理学療法士（Physical Therapist）は…

児童生徒の姿勢・動作など身体に関する支援を行います。子どもの発達段階と成長を支える環境（家庭、学校、療育機関等）を考慮しながら身体の特徴を捉え、子どもが身体を意識できるようにするための手立てを考え提案していきます。又、補装具（車椅子・装具等）や介助の方法、環境設定について評価・検討します。



PTへの相談 たとえば、こんなこと・・・

- ☆姿勢が崩れやすいけれど、どのように対応すればよいか？
- ☆ストレッチ・筋トレの方法はこれでいいのか？
- ☆補装具の調整・作製に関して教えて欲しい。
- ☆車いすが合っていない気がするが、修理や作製をご家族に依頼した方がいいか？
- ☆色々な工夫をしているけれど、客観的にみてどう？
- ☆他機関のPTからの申し送りの内容を一緒に確認してほしい。



言語聴覚士（ST）
小川会理

言語聴覚士（Speech-Language-Hearing Therapist）は・・・

ことばやコミュニケーション・食べる力を育むための支援を行います。児童・生徒が、安心して双方向のコミュニケーションをとり、自己表現ができるように、また、楽しいコミュニケーションをとりながら、安全に食事を食べていけるように、具体的な支援方法を担任の先生方と一緒に考えます。

ST への相談 たとえば、こんなこと・・・

- ☆パニックになることが多いが、コミュニケーションを一緒にみて欲しい。
- ☆音声表出を広げるにはどうしたらいいのか。
- ☆文字の学習が進みにくいので、どのように学習していけばよいか。
- ☆いつも丸のみだがどんな対応をしたらよいか。
- ☆きこえにくいことに対して日常や授業での関わりで気をつけた方が良いことは何か。
- ☆現在のコミュニケーションやことばの発達について一緒にアセスメントしてほしい。
- ☆発音が不明瞭だが、どのように支援していけばよいか。
- ☆AAC（拡大代替コミュニケーション）の活用を一緒に考えてほしい。

保護者の方からの相談をお受けしています。
お子さんに関する日常生活の悩みなどに応じています。

★お問い合わせ★

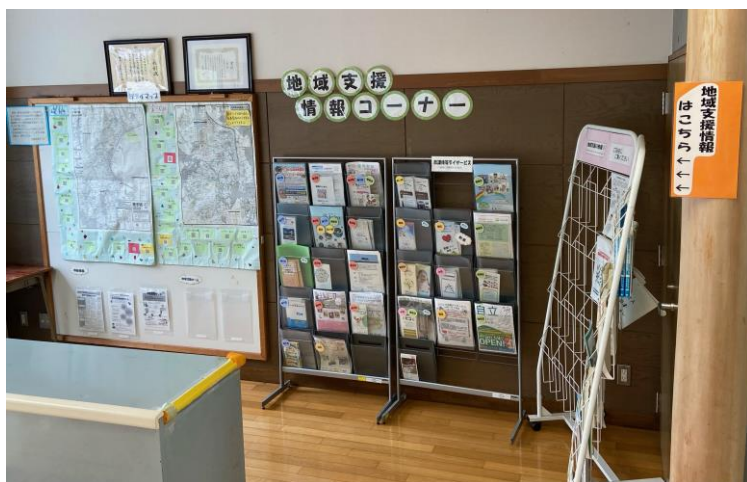


045-770-6877（かなざ輪☆ほっとライン）



受付時間 月～金曜日 9:00～16:00 教育相談コーディネーターまで

地域支援情報コーナーをリニューアルしました



感染症対策のため閉鎖していた地域支援情報コーナーが、リニューアルしました。
昇降口奥の支援スペース内、A部門側です。

内容もリニューアルしており、放課後等デイサービスや地域活動ホーム、移動情報センターの場所や情報がわかる地域支援マップを掲示しています。放課後等デイサービスのパンフレットも一部置いてあり、所在区や医療的ケア対応等のニーズに応じて探しやすいようにタグ付けがしてあります。学校に立ち寄った際にぜひご覧になってください！

PTA 図書についても、引き続き紹介しています。